

一般財団法人 福岡コンベンションセンター

所管事務調査説明資料

目 次

第1章	一般財団法人福岡コンベンションセンターの概要	ページ
1	名称、設立年月日、所在地	1
2	設 立 目 的	1
3	事 業 内 容	1
4	管 理 施 設 の 概 要	1
5	基 本 財 産	2
6	運 用 基 金	2
7	組 織 及 び 役 職 員 数	3
8	役 員 及 び 評 議 員 名 簿	4
第2章	令 和 7 年 度 決 算 状 況	
1	事 業 報 告	5
2	貸 借 対 照 表	1 2
3	正味財産増減計算書	1 5
4	財務諸表に対する注記	2 1
5	附 属 明 細 書	2 2
6	財 産 目 録	2 3
7	収 支 計 算 書	2 5
8	契約金額が3億円以上の工事又は製造の請負の契約	2 6
9	契約金額が4,000万円以上の不動産等の買入れ等の契約	2 6
第3章	令 和 8 年 度 事 業 計 画	
1	事 業 計 画	2 7
2	収 支 予 算 書	3 1

令和8年8月 25 日

経 済 観 光 文 化 局

第1章 一般財団法人福岡コンベンションセンターの概要

1 名称、設立年月日、所在地

- (1) 名称 一般財団法人 福岡コンベンションセンター
- (2) 設立年月日 昭和54年10月1日
- | | |
|--------------------------------|----------------------|
| ※昭和54年10月1日 | 財団法人福岡国際センター設立 |
| 昭和56年10月15日 | 福岡国際センター開館 |
| 平成6年4月1日 | 財団法人福岡総合展示場と改称 |
| 平成7年8月24日 | マリンメッセ福岡A館開館 |
| 平成15年3月3日 | 福岡国際会議場開館 |
| 平成15年4月1日 | 財団法人福岡コンベンションセンターと改称 |
| 平成18年4月1日 | 第1期指定管理者として施設運営 |
| 平成21年4月1日 | 第2期指定管理者として施設運営 |
| 平成25年4月1日 | 一般財団法人へ移行 |
| 平成26年4月1日 | 第3期指定管理者として施設運営 |
| 平成31年4月1日 | 第4期指定管理者として施設運営 |
| (指定管理対象施設：福岡国際会議場及びマリンメッセ福岡A館) | |
| 令和3年4月1日 | マリンメッセ福岡B館開館 |
| (指定管理対象施設にマリンメッセ福岡B館が追加) | |
| 令和6年4月1日 | 第5期指定管理者として施設運営 |
- (3) 所在地 福岡市博多区石城町2-1 (福岡国際会議場内)

2 設立目的

コンベンション施設の利用促進につとめ、地域経済の活性化、学術文化の振興及び国際交流の推進を図り、もって福岡市の国際経済文化都市としての確立を目指すとともに、住民福祉の向上に寄与することを目的とする。

3 事業内容

- (1) 国際会議・国内会議、内外見本市、展示会並びに文化、スポーツ等各種催事の開催又は開催協力に関する事業
- (2) コンベンションに係る情報の収集、提供等に関する事業
- (3) 前各号の事業の用に供するコンベンション施設の管理及び運営に関する事業
- (4) その他目的達成に必要な事業

4 管理施設の概要

- (1) 福岡国際会議場〔平成15年3月 開館〕
- | | |
|------|---|
| 所在地 | 博多区石城町2-1 |
| 規模 | 地上5階（一部6階） |
| 敷地面積 | 10,251平方メートル |
| 延床面積 | 24,885平方メートル |
| 主要施設 | メインホール、多目的ホール、国際会議室、中・小会議室
・ホール機能 最大収容人数 3,000人
※メインホール、多目的ホールを一体利用した時の収容人数 |
| 建設費 | 約100億円 |
| 所有者 | 一般財団法人福岡コンベンションセンター
(福岡市へ無償貸与し、公の施設として位置付け) |

(2) マリンメッセ福岡A館〔平成7年8月 開館〕

所在地 博多区沖浜町7-1

規模 地上4階、地下2階

敷地面積 28,191平方メートル

延床面積 40,631平方メートル

主要施設 多目的展示室

・展示機能 展示面積 1階 約8,000平方メートル
2階 約1,100平方メートル

・アリーナ機能 200メートルトラック及び100メートル直線確保

・ホール機能 最大収容人員 約15,000人

駐車場台数 1,289台（※エキシビジョンパークを除く。）

建設費 約297億円

所有者 福岡市

(3) マリンメッセ福岡B館〔令和3年4月 開館〕

所在地 博多区沖浜町2-1

規模 地上2階

敷地面積 17,455平方メートル

延床面積 11,430平方メートル

主要施設 多目的展示室

・展示機能 展示面積 約5,000平方メートル

・ホール機能 最大収容人員 約6,000人

建設費 約72億円

所有者 福岡市

(4) 福岡国際センター〔昭和56年10月 開館〕

所在地 博多区築港本町2-2

規模 地上3階、地下1階

敷地面積 17,094平方メートル

延床面積 14,243平方メートル

主要施設 展示ホール

・展示機能 展示面積 1階 約3,400平方メートル
2階 約1,600平方メートル

・ホール機能 最大収容人員 約10,000人

駐車場台数 165台

建設費 約38億円

所有者 一般財団法人福岡コンベンションセンター

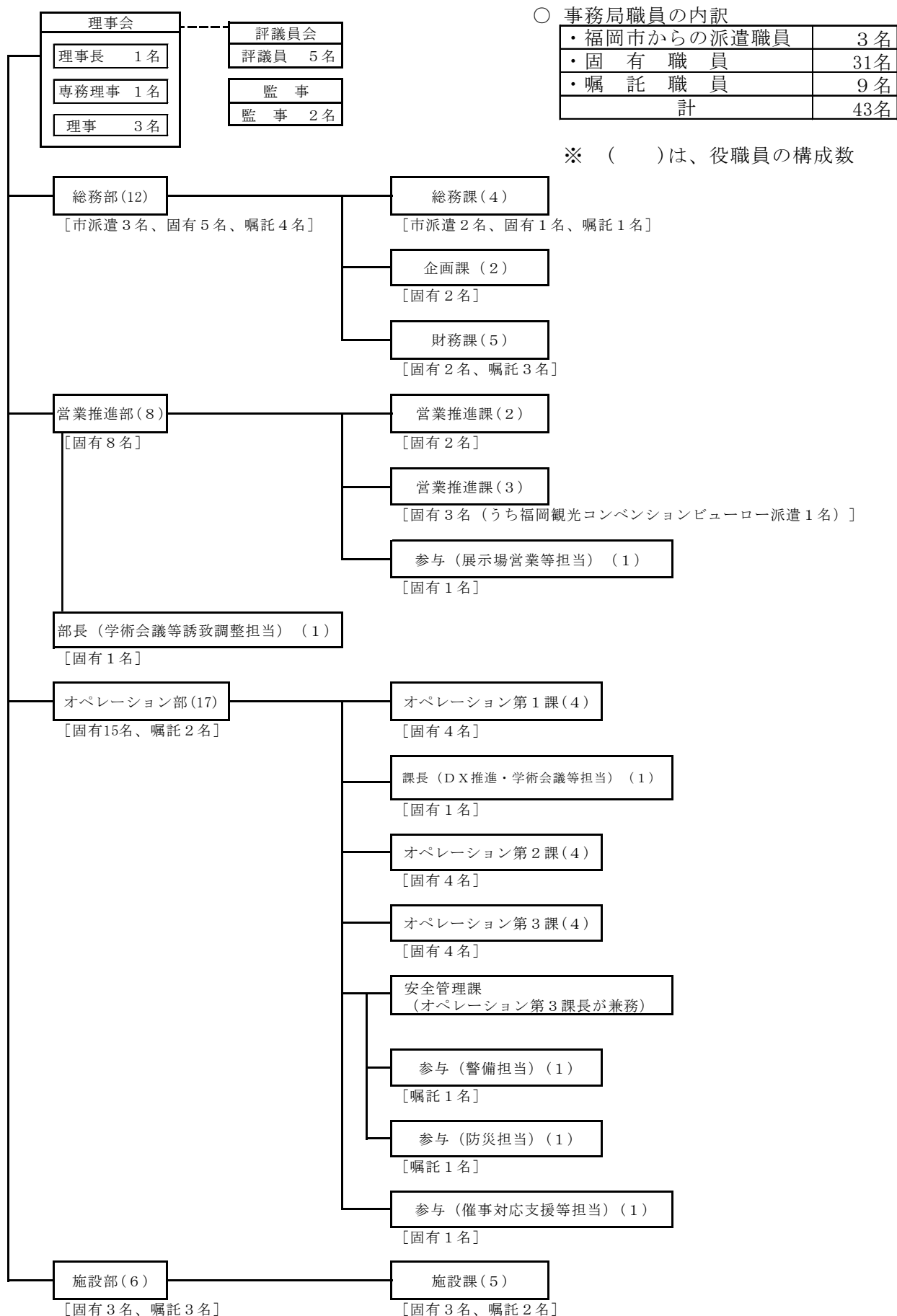
5 基本財産

200,000千円（福岡市185,000千円 92.5%）

6 運用基金（福岡国際センター設立時に設けた基金）

300,000千円（福岡市100.0%）

7 組織及び役職員数（令和8年7月1日現在）



※ 固有職員4名は育児休業中、1名は配偶者同行休業中

8 役員及び評議員名簿（令和8年7月1日現在）

○ 役員

役 職 名	氏 名	就 任 年 月 日	備 考
理 事 長 (代表理事)	石 橋 正 信	令和7年6月27日	(常勤)
専務理事 (代表理事)	上 薗 久 美	令和8年4月1日	(常勤)
理 事	古 賀 靖 朗	令和8年4月1日	九州電力株式会社 執行役員福岡支店長
理 事	竹 中 良 孝	令和7年6月27日	公益財団法人福岡観光コンベン ションビューロー専務理事
理 事	吉 田 宏 幸	令和7年6月27日	福岡市 経済観光文化局長
監 事	野 中 晶	令和8年4月1日	福岡市 会計管理者
監 事	山 本 智 正	令和8年4月1日	株式会社福岡銀行 常務執行役員

○ 評議員

役 職 名	氏 名	就 任 年 月 日	備 考
評 議 員	鈴 木 順 也	令和7年6月27日	福岡市 港湾空港局長
評 議 員	田 代 雅 彦	令和7年6月27日	九州産業大学 地域共創学部観光学科教授
評 議 員	田 中 徹	令和7年6月27日	一般社団法人九州経済連合会 専務理事
評 議 員	原 田 清 子	令和7年6月27日	公益財団法人福岡市スポーツ協会 副会長
評 議 員	松 本 恭 子	令和7年6月27日	福岡商工会議所 専務理事

第2章 令和7年度決算状況

1 事業報告

(1) 概 要

令和7年度は、第5期指定管理期間（令和6年度～令和10年度）の2年度目であるが、第5期事業計画期間全体を通じた計画目標を実現していくためには、令和7年度もこれまで一般財団法人福岡コンベンションセンター（以下「財団」という。）が蓄積してきたMICE誘致や施設運営のノウハウ等を駆使しつつ、利用率やコンベンション事業収入の最大化に努める必要があった。

令和7年度の各施設の利用率は、福岡国際会議場及び福岡国際センターは目標利用率に若干届いていないが、マリンメッセ福岡A館・B館は目標利用率を上回ることができ、引き続き高い施設稼働率を維持することができた。

また、令和7年度のコンベンション事業収入は、マリンメッセ福岡A館の大規模改修工事に伴う約1か月間の休館があったものの、4施設全体で過去最高の2,450百万円となり、第5期の収支計画における令和7年度見込額と比べ、282百万円の増収となった。

(2) MICE誘致に向けた取組み

第5期事業計画に定めた営業戦略に基づき、令和7年度はコンベンションゾーンの施設相互利用の促進や国際MICEへの対応などに取り組んだ。

令和7年度の利用率は、マリンメッセ福岡A館が受入上限近くに、また、マリンメッセ福岡B館や福岡国際センターも7割程度に達しており、新規展示会等の誘致に制約があるが、今後も催事主催者等のニーズを十分把握しながら、効果的な誘致に取り組んでいく。

① 営業戦略に基づいた取組み

【営業戦略1】 マーケティングに基づく新規催事の獲得

九州の産業構造、地域特性や業界トレンドを基に、アプローチする業界・分野、主催者のターゲティングと優先順位のリスト化を行い、新たに「九州・東アジア国際物流総合展 INNOVATION EXPO 2026」などの展示会の獲得に成功した。

【営業戦略2】 マリンメッセ福岡B館の利用促進

マリンメッセ福岡B館での新規催事誘致営業に加え、既存催事の規模拡大や福岡国際会議場との併催誘致に取り組んだ。

新規催事として「九州ウェルディングフェスタ」（2026年）、既存催事の規模拡大としてマリンメッセ福岡A・B館利用の「第2回 [九州]次世代物流展」（2027年）、福岡国際会議場を併用する「第81回日本胸部外科学会定期学術集会」（2028年）の誘致にも成功した。

その他、当該年度に国内外企業によるインセンティブツアー、企業方針説明会など幅広い利用に繋がった。

【営業戦略3】 コロナ禍で中止となった催事の追跡

福岡国際センターにおいて、コロナ禍以前に開催、または開催を予定していた主催者への継続的なアプローチにより、「国際モダンホスピタルショウ 2025 in 九州」の再開、「FUKUOKA ハッピーフェスタ〜2026」の誘致に成功した。

【営業戦略4】 国際会議・学会議の積極的誘致

MICE誘致・開催のための国内最大級の商談イベントである第35回国際MICEエキスポへの出展や国際会議誘致プレゼンテーションへの参画、地元大学や学会事務局への訪問営業など、国際MICEの誘致に向けた営業活動を実施した。

その結果、「国際眼炎症学会(IOIS2027)」(2027年)、「第14回アジア・プロボノ会議」(2026年)、「第51回日本分子生物学会年会」(2028年)などの国際会議・学会議の誘致に成功した。

【営業戦略5】 利用率向上に向けたリピーター調整

リピーター確保の取組みとして、主催者のニーズに沿った日程調整や、最適な施設提案及び新規催事利用者への継続利用に向けた提案により利用率の向上に繋がった。

② 広報活動

『MICE Japan』や『見本市展示会通信』などの業界誌及び地場経済誌への広告出稿に加え、業界関係者を対象とした見本市・展示会への出展を通じたプロモーションを実施した。

また、福岡国際会議場の利用促進に特化したホームページを制作し、インターネット広告を活用した新たな広報活動を展開した。

③ コンベンションゾーンの施設相互利用の取組み

複数施設を利用する大型MICEの誘致を積極的に推進し、令和7年度の相互利用件数は、福岡国際会議場と展示場の併用催事10件、マリンメッセ福岡A・B館の併用催事11件が開催された。

また、相互利用の取組みの一環として、マリンメッセ福岡A館で開催するコンサートの物販会場として、マリンメッセ福岡B館ロビーを活用した。

④ 都市間競争の激化など新たな課題への対応

福岡観光コンベンションビューロー(以下「FCVB」という。)と連携し、福岡市植物園のエントランスガーデンやボタニカルライフスクエアを活用したアフターパーティーの提案など、新たなランドマーク施設の魅力発信を組み込んだ誘致活動を展開した。

⑤ 国際MICEへの対応

FCVBと共同で、第73回応用物理学会春季学術講演会併設展示会「JSAP EXPO Spring 2026」へ出展し、国際会議開催に関わる大学教授・研究者等への営業活動を実施した。

加えて、海外主催者等からの問合せ対応や視察受入れを通じて人的ネットワークの拡大を図るなど、国際MICE誘致に積極的に取り組んだ。

⑥ 重点分野の積極的誘致、新たなビジネス機会の創出

学会事務局やステークホルダーとなる大学教授等への営業活動を通じ、「第112回日本泌尿器科学会総会」、「第69回日本リウマチ学会総会・学術集会」及び「第30回日本緩和医療学会学術大会」など、MICE都市としてのプレゼンス向上に寄与する多くの学術会議が開催された。

また、「西日本食品産業創造展」、「第2回〔九州〕半導体産業展」及び「第3回ものづくりワールド〔福岡〕」など、九州の産業を牽引する展示会・見本市が開催された。

(3) お客様サービス向上への取組み

安全・安心に利用できる施設を提供することが重要であることから、主催者へのアンケート調査や来場者へのサンプル調査を実施し、ニーズに即した質の高いサービス提供に努めており、令和7年度も、お客様（主催者）満足度は、各施設とも95%を上回った。

また、来場者のアクセスの利便性を高めるため、催事の種類、来場予定者数、年齢層などの属性情報を提供し、臨時バスの運行を依頼した。

さらに、渋滞が予測される展示会における駐車場運用の工夫や、ラジオによる周辺道路の混雑情報の発信を実施し、コンサート終了後の第1駐車場の出庫混雑対策として西側出庫口を活用することにより、出庫時間の短縮や混雑緩和に努めた。また、駐車場案内看板を設置した。

(4) 国際MICE受入れ体制強化に向けた主な取組内容

① フードダイバーシティへの対応

施設内レストランにおいて、ハラル・ヴィーガンメニューの常時提供が可能な体制を整備した。また、国際会議場にて1,000食以上のランチ・ケータリングの提供を実施した。

② 英語による国際会議等への対応

国際会議等において、英語版の見積書、請求書の作成、英語による打合わせ対応等を実施した。

(5) 施設の維持管理

施設の経年老朽化に対応し、適切に施設の維持管理と安全性の確保を図るとともに、長期保全計画に基づき、設備機器の更新や施設環境の改善を計画的に実施した。

加えて、利用者に快適で利便性の高い施設を提供するため、各施設の保守管理、改修等を適宜行った。

また、専門委託業者等による日常・定期点検の的確な履行、実施内容の確認を徹底し、予防保全に努めた。

(6) 危機管理対策（事故防止・防犯・防災対策）

防災対策の一環として、消防計画に基づく定期的な消防訓練を実施するとともに、財団職員及び各施設防災センター等の職員に、救命講習や各種防災研修を受講させること等により、安全意識及び防災知識・技術の向上に努めた。

(7) S D G s への取組み

持続可能な社会の実現に向けて、事業活動における環境負荷軽減など S D G s 達成に貢献するため、令和 5 年度に策定した「S D G s 取組方針」に沿って以下の取組みを実施した。

＜令和 7 年度の主な取組み＞

- 福岡国際会議場、マリンメッセ福岡 A 館・B 館への給水スポット設置
- 催事利用における施設ごみ排出ルールの変更（分別及びリサイクルの促進）
- 食品残渣の利活用に向けた協議の実施

(8) 自主企画事業等への取組み

コンベンションゾーンの魅力向上、地域経済への貢献・地域との連携、観光等の施策推進を進めるため、財団が主催・共催する自主企画事業に積極的に取り組んだ。

① 自主企画事業（催事）の実施

＜主な取組実績＞

- FUKUOKA MUSIC SUMMIT（共催：福岡音楽都市協議会）
- バックヤードツアー（福岡市修学旅行 NAVI 体験学習プログラム）

② その他新規事業の実施

- キッチンカー事業の実施

飲食店不足の解消等を目的として土日祝日に加え、来場者が見込まれる平日にも実施

- ローカル 5 G の設置

催事主催者の利便性向上を目的としてローカル 5 G を試験的に設置

- 福岡市「mirai@」（ミライアット）との連携

MICE 施設運営スマート化に向けた実証プロジェクトの提案募集を開始

③ マリンメッセ福岡 A 館 30 周年事業の実施

- マリンメッセ福岡 A 館 30 周年式典の実施
- 博多どんたく港まつりどんたくパレード参加

(9) 各施設の利用状況

【福岡国際会議場の利用状況等】

区 分	利用室数	利用可能室数	利用率
多目的ホール メインホール (6室) 国際会議室	1,467室	2,010室	72.9%
中・小会議室 (18室)	3,359室	6,030室	55.7%
合 計 (24室)	4,826室	8,040室	60.0%

(注) 利用率 (多目的ホール・メインホール・国際会議室) 72.9%

(利用室数 1,467 室/利用可能室数 2,010 室)

(年間利用可能室数 2,010 室=6 室×335 日:年 365 日－休館日等 30 日)

(注) 利用率 (中・小会議室) 55.7% (利用室数 3,359 室/利用可能室数 6,030 室)

(年間利用可能室数 6,030 室=18 室×335 日:年 365 日－休館日等 30 日)

(注) 利用率 (合計) 60.0% (利用室数 4,826 室/利用可能室数 8,040 室)

(年間利用可能室数 8,040 室=会議場全 24 室×335 日:年 365 日－休館日等 30 日)

区 分	利用件数	入場者数
国際会議	23件	65,429人
国内学術会議	21件	18,306人
展示会	89件	48,958人
コンサート・興行	57件	60,741人
国内一般会議等	477件	110,713人
合 計	667件	304,147人

【マリンメッセ福岡A館の利用状況等】

区 分	利用件数	利用日数	入場者数	利用率
展 示 会	23件	91日	260,378人	90.0%
コンサート・興行	47件	163日	915,143人	
会議・集会	11件	27日	64,355人	
アマチュアスポーツ	0件	0日	0人	
合 計	81件	281日	1,239,876人	

(注) 利用率 90.0% (281日/312日：年365日－休館日等53日)

【マリンメッセ福岡B館の利用状況等】

区 分	利用件数	利用日数	入場者数	利用率
展 示 会	32件	106日	212,704人	69.5%
コンサート・興行	18件	65日	96,077人	
会議・集会	28件	62日	83,737人	
アマチュアスポーツ	0件	0日	0人	
合 計	78件	233日	392,518人	

(注) 利用率 69.5% (233日/335日：年365日－休館日等30日)

【福岡国際センターの利用状況等】

区 分	利用件数	利用日数	入場者数	利用率
展 示 会	40件	125日	166,432人	73.7%
コンサート・興行	13件	35日	80,881人	
会議・集会	23件	39日	35,484人	
アマチュアスポーツ	5件	12日	21,510人	
大 相 撲	1件	36日	104,700人	
合 計	82件	247日	409,007人	

(注) 利用率 73.7% (247日/335日：年365日－休館日等30日)

(10) 理事会の開催状況

会 議 名	開 催 日	内 容
令和7年度 第1回理事会	令和7年4月1日 ※決議の省略	代表理事の選定に関する件
令和7年度 第2回理事会	令和7年6月2日	令和6年度事業報告及び決算について 公益目的支出計画実施報告書について 評議員会の開催について
令和7年度 第3回理事会	令和7年6月27日 ※決議の省略	代表理事の選定に関する件
令和7年度 第4回理事会	令和8年3月27日	令和7年度補正予算（案） 令和8年度事業計画（案） 令和8年度予算（案）
令和7年度 第5回理事会	令和8年3月31日 ※決議の省略	理事候補者の推薦に関する件 監事候補者の推薦に関する件 評議員会の開催に関する件

(11) 評議員会の開催状況

会 議 名	開 催 日	内 容
令和7年度 定時評議員会	令和7年6月27日	令和6年度決算について 役員の任期満了に伴う次期役員の選任について 評議員の任期満了に伴う次期評議員の選任について
令和7年度 臨時評議員会	令和8年3月31日 ※決議の省略	理事候補者の選任に関する件 監事候補者の選任に関する件

※ 上記(10)(11)の表中の「決議の省略」とは、いわゆる書面決議のことであり、定期の役員選定などについて実施しているものである。

2 貸借対照表（令和8年3月31日現在）

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,650,596,136	1,341,252,920	309,343,216
未収金	126,160,728	220,555,363	△ 94,394,635
前払金	25,394	14,976	10,418
前払費用	4,966,116	2,442,758	2,523,358
貯蔵品	968,000	968,000	0
流動資産合計	1,782,716,374	1,565,234,017	217,482,357
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	200,000,000	200,000,000	0
基本財産合計	200,000,000	200,000,000	0
(2) 特定資産			
運用基金	300,000,000	300,000,000	0
退職給付引当資産	123,462,133	108,678,088	14,784,045
減価償却引当資産	595,239,771	546,709,236	48,530,535
経営調整積立資産	350,000,000	350,000,000	0
修繕等積立資産	3,459,529,586	3,135,520,536	324,009,050
特定資産合計	4,828,231,490	4,440,907,860	387,323,630
(3) その他固定資産			
建物	5,186,413,825	5,394,523,431	△ 208,109,606
建物付属設備	1,183,620,712	1,301,681,248	△ 118,060,536
構築物	43,240,114	47,415,097	△ 4,174,983
車両運搬具	4	4	0
機械及び装置	106,266,764	128,588,945	△ 22,322,181
器具及び備品	259,589,790	150,539,078	109,050,712
リース資産	8,252,640	13,754,400	△ 5,501,760
建設仮勘定	133,485,000	0	133,485,000
ソフトウェア	23,836,776	26,258,728	△ 2,421,952
長期前払費用	6,108,791	0	6,108,791
その他固定資産合計	6,950,814,416	7,062,760,931	△ 111,946,515
固定資産合計	11,979,045,906	11,703,668,791	275,377,115
資産合計	13,761,762,280	13,268,902,808	492,859,472
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	400,187,889	345,300,547	54,887,342
前受金	384,239,399	384,652,772	△ 413,373
預り金	17,600,000	0	17,600,000
流動負債合計	802,027,288	729,953,319	72,073,969
2. 固定負債			
リース債務	8,252,640	13,754,400	△ 5,501,760
退職給付引当金	123,462,133	108,678,088	14,784,045
受入保証金	2,000,000	2,000,000	0
固定負債合計	133,714,773	124,432,488	9,282,285
負債合計	935,742,061	854,385,807	81,356,254
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄附金	500,000,000	500,000,000	0
指定正味財産合計	500,000,000	500,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(200,000,000)	(200,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(300,000,000)	(300,000,000)	(0)
2. 一般正味財産	12,326,020,219	11,914,517,001	411,503,218
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(4,404,769,357)	(4,032,229,772)	(372,539,585)
正味財産合計	12,826,020,219	12,414,517,001	411,503,218
負債及び正味財産合計	13,761,762,280	13,268,902,808	492,859,472

【参考】貸借対照表内訳表（令和8年3月31日現在）

科目	合計	実施事業等会計		
		福岡国際会議場	福岡国際センター	特定寄附
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金	1,650,596,136	283,915,743	303,340,410	0
未収金	126,160,728	67,114,045	1,539,049	0
前払金	25,394	0	0	0
前払費用	4,966,116	2,899,639	1,172,887	0
貯蔵品	968,000	0	968,000	0
流動資産合計	1,782,716,374	353,929,427	307,020,346	0
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
投資有価証券	200,000,000	0	0	0
基本財産合計	200,000,000	0	0	0
(2) 特定資産				
運用基金	300,000,000	0	300,000,000	0
退職給付引当資産	123,462,133	29,076,661	29,076,661	0
減価償却引当資産	595,239,771	394,192,343	128,999,660	0
経営調整積立資産	350,000,000	0	0	0
修繕等積立資産	3,459,529,586	1,892,365,784	1,567,163,802	0
特定資産合計	4,828,231,490	2,315,634,788	2,025,240,123	0
(3) その他固定資産				
建物	5,186,413,825	4,168,000,181	1,018,413,644	0
建物附属設備	1,183,620,712	1,084,133,211	92,622,195	0
構築物	43,240,114	24,369,390	9,785,827	0
車両運搬具	4	3	0	0
機械及び装置	106,266,764	41,128,797	65,137,966	0
器具及び備品	259,589,790	240,850,283	6,353,374	0
リース資産	8,252,640	0	0	0
建設仮勘定	133,485,000	120,780,000	12,705,000	0
ソフトウェア	23,836,776	4,046,254	4,046,254	0
長期前払費用	6,108,791	4,349,459	1,759,332	0
内部会計貸付金	0	0	0	0
その他固定資産合計	6,950,814,416	5,687,657,578	1,210,823,592	0
固定資産合計	11,979,045,906	8,003,292,366	3,236,063,715	0
資産合計	13,761,762,280	8,357,221,793	3,543,084,061	0
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	400,187,889	199,351,292	145,087,070	0
前受金	384,239,399	35,847,845	48,151,277	0
預り金	17,600,000	0	17,600,000	0
流動負債合計	802,027,288	235,199,137	210,838,347	0
2. 固定負債				
リース債務	8,252,640	0	0	0
退職給付引当金	123,462,133	29,076,661	29,076,661	0
受入保証金	2,000,000	1,000,000	0	0
内部会計借入金	0	5,159,857,147	1,395,814,700	0
固定負債合計	133,714,773	5,189,933,808	1,424,891,361	0
負債合計	935,742,061	5,425,132,945	1,635,729,708	0
III 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
寄附金	500,000,000	0	300,000,000	0
指定正味財産合計	500,000,000	0	300,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(200,000,000)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(300,000,000)	(0)	(300,000,000)	(0)
2. 一般正味財産	12,326,020,219	2,932,088,848	1,607,354,353	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(4,404,769,357)	(2,286,558,127)	(1,696,163,462)	(0)
正味財産合計	12,826,020,219	2,932,088,848	1,907,354,353	0
負債及び正味財産合計	13,761,762,280	8,357,221,793	3,543,084,061	0

(単位：円)

小計	その他会計			法人会計	内部取引消去
	マリンメッセ福岡A館	マリンメッセ福岡B館	小計		
587,256,153	682,540,278	360,049,423	1,042,589,701	20,750,282	0
68,653,094	363,524,945	38,402,937	401,927,882	275,080,132	△ 619,500,380
0	0	0	0	25,394	0
4,072,526	0	0	0	893,590	0
968,000	0	0	0	0	0
660,949,773	1,046,065,223	398,452,360	1,444,517,583	296,749,398	△ 619,500,380
0	0	0	0	200,000,000	0
0	0	0	0	200,000,000	0
300,000,000	0	0	0	0	0
58,153,322	29,076,661	29,076,704	58,153,365	7,155,446	0
523,192,003	51,870,114	7,396,000	59,266,114	12,781,654	0
0	0	0	0	350,000,000	0
3,459,529,586	0	0	0	0	0
4,340,874,911	80,946,775	36,472,704	117,419,479	369,937,100	0
5,186,413,825	0	0	0	0	0
1,176,755,406	5,329,131	0	5,329,131	1,536,175	0
34,155,217	9,084,897	0	9,084,897	0	0
3	1	0	1	0	0
106,266,763	1	0	1	0	0
247,203,657	10,230,476	447,736	10,678,212	1,707,921	0
0	0	0	0	8,252,640	0
133,485,000	0	0	0	0	0
8,092,508	4,046,254	4,046,254	8,092,508	7,651,760	0
6,108,791	0	0	0	0	0
0	0	0	0	6,555,671,847	△ 6,555,671,847
6,898,481,170	28,690,760	4,493,990	33,184,750	6,574,820,343	△ 6,555,671,847
11,239,356,081	109,637,535	40,966,694	150,604,229	7,144,757,443	△ 6,555,671,847
11,900,305,854	1,155,702,758	439,419,054	1,595,121,812	7,441,506,841	△ 7,175,172,227
344,438,362	231,485,502	147,908,597	379,394,099	295,855,808	△ 619,500,380
83,999,122	213,120,718	87,119,559	300,240,277	0	0
17,600,000	0	0	0	0	0
446,037,484	444,606,220	235,028,156	679,634,376	295,855,808	△ 619,500,380
0	0	0	0	8,252,640	0
58,153,322	29,076,661	29,076,704	58,153,365	7,155,446	0
1,000,000	1,000,000	0	1,000,000	0	0
6,555,671,847	0	0	0	0	△ 6,555,671,847
6,614,825,169	30,076,661	29,076,704	59,153,365	15,408,086	△ 6,555,671,847
7,060,862,653	474,682,881	264,104,860	738,787,741	311,263,894	△ 7,175,172,227
300,000,000	0	0	0	200,000,000	0
300,000,000	0	0	0	200,000,000	0
(0)	(0)	(0)	(0)	(200,000,000)	0
(300,000,000)	(0)	(0)	(0)	(0)	0
4,539,443,201	681,019,877	175,314,194	856,334,071	6,930,242,947	0
(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	0
(3,982,721,589)	(51,870,114)	(7,396,000)	(59,266,114)	(362,781,654)	0
4,839,443,201	681,019,877	175,314,194	856,334,071	7,130,242,947	0
11,900,305,854	1,155,702,758	439,419,054	1,595,121,812	7,441,506,841	△ 7,175,172,227

3 正味財産増減計算書（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	1,916,000	1,916,000	0
基本財産受取利息	1,916,000	1,916,000	0
② 特定資産運用益	17,854,731	5,236,419	12,618,312
特定資産受取利息	17,854,731	5,236,419	12,618,312
③ コンベンション事業収益	2,450,002,270	2,431,574,463	18,427,807
施設使用料収益	2,247,044,779	2,220,473,816	26,570,963
受取負担金	202,957,491	211,100,647	△ 8,143,156
④ レストラン等事業収益	101,943,793	96,723,423	5,220,370
レストラン収益	41,579,666	35,345,690	6,233,976
自動販売機収益	43,461,679	43,800,754	△ 339,075
付帯設備設置料収益	16,902,448	17,576,979	△ 674,531
⑤ 駐車場事業収益	202,016,060	178,799,960	23,216,100
駐車場事業収益	202,016,060	178,799,960	23,216,100
⑥ 雑収益	30,404,726	59,588,540	△ 29,183,814
受取利息	4,082,591	1,032,385	3,050,206
還付消費税収益	0	54,546,144	△ 54,546,144
雑収益	26,322,135	4,010,011	22,312,124
経常収益計	2,804,137,580	2,773,838,805	30,298,775
(2) 経常費用			
① コンベンション事業費	2,052,143,191	2,007,114,180	45,029,011
役員報酬	10,414,332	7,168,800	3,245,532
給料手当	208,831,265	202,847,627	5,983,638
退職給付費用	14,723,719	15,520,664	△ 796,945
福利厚生費	33,440,020	33,150,264	289,756
会議費	24,311	12,186	12,125
旅費交通費	3,888,228	3,575,084	313,144
通信運搬費	4,756,389	4,557,687	198,702
減価償却費	450,088,408	486,291,846	△ 36,203,438
消耗什器備品費	2,614,040	4,243,580	△ 1,629,540
消耗品費	6,966,098	9,766,581	△ 2,800,483
修繕費	78,834,800	81,863,815	△ 3,029,015
広告宣伝費	5,920,978	4,449,079	1,471,899
印刷製本費	2,328,275	1,379,142	949,133
燃料費	62,280	90,502	△ 28,222
光熱水料費	280,673,239	334,980,806	△ 54,307,567
賃借料	2,781,152	2,494,536	286,616

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
保険料	3, 590, 201	3, 096, 371	493, 830
租税公課	180, 794, 385	63, 486, 180	117, 308, 205
支払負担金	1, 285, 306	6, 598, 500	△ 5, 313, 194
委託費	760, 089, 245	741, 429, 610	18, 659, 635
雑費	36, 520	111, 320	△ 74, 800
② レストラン等事業費	8, 065, 261	7, 579, 231	486, 030
修繕費	0	36, 630	△ 36, 630
光熱水料費	6, 501, 300	6, 151, 844	349, 456
委託費	1, 563, 961	1, 390, 757	173, 204
③ 駐車場事業費	52, 658, 679	45, 577, 181	7, 081, 498
通信運搬費	85, 694	85, 692	2
消耗品費	741, 400	493, 900	247, 500
修繕費	393, 140	0	393, 140
印刷製本費	272, 800	264, 000	8, 800
光熱水料費	4, 295, 351	3, 901, 235	394, 116
賃借料	274, 032	270, 270	3, 762
委託費	46, 525, 367	40, 504, 562	6, 020, 805
雑費	70, 895	57, 522	13, 373
④ 管理費	108, 170, 163	100, 732, 677	7, 437, 486
役員報酬	14, 863, 187	14, 836, 200	26, 987
給料手当	42, 039, 759	38, 856, 813	3, 182, 946
退職給付費用	60, 326	1, 072, 425	△ 1, 012, 099
福利厚生費	9, 479, 392	9, 388, 867	90, 525
被服費	162, 580	0	162, 580
交際費	1, 228, 215	1, 435, 370	△ 207, 155
会議費	202, 472	251, 826	△ 49, 354
旅費交通費	2, 268, 286	1, 698, 941	569, 345
通信運搬費	1, 996, 659	1, 981, 822	14, 837
減価償却費	8, 886, 085	8, 771, 393	114, 692
消耗什器備品費	212, 850	0	212, 850
消耗品費	5, 812, 288	1, 605, 636	4, 206, 652
修繕費	0	1, 000	△ 1, 000
印刷製本費	864, 329	559, 651	304, 678
燃料費	26, 313	30, 754	△ 4, 441
賃借料	1, 046, 376	1, 170, 945	△ 124, 569
保険料	894, 570	966, 580	△ 72, 010
諸謝金	1, 869, 890	2, 433, 926	△ 564, 036
租税公課	1, 577, 030	1, 162, 906	414, 124
支払負担金	9, 143, 730	9, 370, 129	△ 226, 399

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
委託費	5,120,131	4,897,728	222,403
雑費	415,695	239,765	175,930
⑤ 寄附金	170,000,000	170,000,000	0
福岡市寄附金	170,000,000	170,000,000	0
経常費用計	2,391,037,294	2,331,003,269	60,034,025
当期経常増減額	413,100,286	442,835,536	△ 29,735,250
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
① 除却損失	1,597,068	6,293,067	△ 4,695,999
建物付属設備除却損	110,034	6,293,062	△ 6,183,028
構築物除却損	337,024	0	337,024
器具及び備品除却損	1,150,010	5	1,150,005
経常外費用計	1,597,068	6,293,067	△ 4,695,999
当期経常外増減額	△ 1,597,068	△ 6,293,067	4,695,999
当期一般正味財産増減額	411,503,218	436,542,469	△ 25,039,251
一般正味財産期首残高	11,914,517,001	11,477,974,532	436,542,469
一般正味財産期末残高	12,326,020,219	11,914,517,001	411,503,218
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	500,000,000	500,000,000	0
指定正味財産期末残高	500,000,000	500,000,000	0
III 正味財産期末残高	12,826,020,219	12,414,517,001	411,503,218

【参考】正味財産増減計算書内訳表（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）

科目	合計	実施事業等会計		
		福岡国際会議場	福岡国際センター	特定寄附
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	1,916,000	0	0	0
② 特定資産運用益	17,854,731	10,311,095	7,493,636	0
③ コンベンション事業収益	2,450,002,270	486,109,581	341,896,170	0
④ レストラン等事業収益	101,943,793	47,178,273	12,146,459	0
⑤ 駐車場事業収益	202,016,060	6,780,980	1,578,760	0
⑥ 雑収益	30,404,726	25,887,222	1,204,595	0
経常収益計	2,804,137,580	576,267,151	364,319,620	0
(2) 経常費用				
① コンベンション事業費	2,052,143,191	865,188,905	409,313,707	0
② レストラン等事業費	8,065,261	6,137,432	0	0
③ 駐車場事業費	52,658,679	0	0	0
④ 管理費	108,170,163	0	0	0
⑤ 寄附金	170,000,000	0	0	170,000,000
経常費用計	2,391,037,294	871,326,337	409,313,707	170,000,000
当期経常増減額	413,100,286	△ 295,059,186	△ 44,994,087	△ 170,000,000
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
① 除却損失	1,597,068	110,042	1,150,001	0
経常外費用計	1,597,068	110,042	1,150,001	0
当期経常外増減額	△ 1,597,068	△ 110,042	△ 1,150,001	0
他会計振替額	0	271,446,836	392,007,835	170,000,000
当期一般正味財産増減額	411,503,218	△ 23,722,392	345,863,747	0
一般正味財産期首残高	11,914,517,001	2,955,811,240	1,261,490,606	0
一般正味財産期末残高	12,326,020,219	2,932,088,848	1,607,354,353	0
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	500,000,000	0	300,000,000	0
指定正味財産期末残高	500,000,000	0	300,000,000	0
III 正味財産期末残高	12,826,020,219	2,932,088,848	1,907,354,353	0

(単位：円)

その他会計					
小計	マリンメッセ福岡A館	マリンメッセ福岡B館	小計	法人会計	内部取引消去
0	0	0	0	1,916,000	0
17,804,731	8,750	3,750	12,500	37,500	0
828,005,751	1,130,527,309	492,075,005	1,622,602,314	0	△ 605,795
59,324,732	36,734,930	5,884,131	42,619,061	0	0
8,359,740	175,781,960	17,874,360	193,656,320	0	0
27,091,817	5,050,129	958,899	6,009,028	4,849,494	△ 7,545,613
940,586,771	1,348,103,078	516,796,145	1,864,899,223	6,802,994	△ 8,151,408
1,274,502,612	578,329,049	206,857,143	785,186,192	0	△ 7,545,613
6,137,432	1,927,829	0	1,927,829	0	0
0	52,658,679	0	52,658,679	0	0
0	0	0	0	108,775,958	△ 605,795
170,000,000	0	0	0	0	0
1,450,640,044	632,915,557	206,857,143	839,772,700	108,775,958	△ 8,151,408
△ 510,053,273	715,187,521	309,939,002	1,025,126,523	△ 101,972,964	0
0	0	0	0	0	0
1,260,043	337,025	0	337,025	0	0
1,260,043	337,025	0	337,025	0	0
△ 1,260,043	△ 337,025	0	△ 337,025	0	0
833,454,671	△ 648,431,165	△ 296,992,165	△ 945,423,330	111,968,659	0
322,141,355	66,419,331	12,946,837	79,366,168	9,995,695	0
4,217,301,846	614,600,546	162,367,357	776,967,903	6,920,247,252	0
4,539,443,201	681,019,877	175,314,194	856,334,071	6,930,242,947	0
0	0	0	0	0	0
300,000,000	0	0	0	200,000,000	0
300,000,000	0	0	0	200,000,000	0
4,839,443,201	681,019,877	175,314,194	856,334,071	7,130,242,947	0

4 財務諸表に対する注記

(1) 重要な会計方針

① 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の有価証券については償却原価法（定額法）を採用している。

② 固定資産の減価償却の方法

ア 有形固定資産及び無形固定資産（リース資産を除く）

定額法を採用している。

イ リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用している。

③ 引当金の計上基準

退職給付引当金については期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。

④ 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理については税込方式によっている。

(2) 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	200,000,000	0	0	200,000,000
小 計	200,000,000	0	0	200,000,000
特定資産				
運用基金	300,000,000	0	0	300,000,000
退職給付引当資産	108,678,088	14,784,045	0	123,462,133
減価償却引当資産	546,709,236	196,825,000	148,294,465	595,239,771
経営調整積立資産	350,000,000	0	0	350,000,000
修繕等積立資産	3,135,520,536	592,000,000	267,990,950	3,459,529,586
小 計	4,440,907,860	803,609,045	416,285,415	4,828,231,490
合 計	4,640,907,860	803,609,045	416,285,415	5,028,231,490

(3) 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に 対応する額）
基本財産				
基本財産引当資産	200,000,000	(200,000,000)	-	-
小 計	200,000,000	(200,000,000)	-	-
特定資産				
運用基金	300,000,000	(300,000,000)	-	-
退職給付引当資産	123,462,133	-	-	(123,462,133)
減価償却引当資産	595,239,771	-	(595,239,771)	-
経営調整積立資産	350,000,000	-	(350,000,000)	-
修繕等積立資産	3,459,529,586	-	(3,459,529,586)	-
小 計	4,828,231,490	(300,000,000)	(4,404,769,357)	(123,462,133)
合 計	5,028,231,490	(500,000,000)	(4,404,769,357)	(123,462,133)

(4) 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他の固定資産			
建物	10,616,563,176	5,430,149,351	5,186,413,825
建物付属設備	6,045,658,908	4,862,038,196	1,183,620,712
構築物	554,925,870	511,685,756	43,240,114
車両運搬具	7,756,070	7,756,066	4
機械及び装置	549,106,814	442,840,050	106,266,764
器具及び備品	832,642,422	573,052,632	259,589,790
ソフトウェア	55,195,725	31,358,949	23,836,776
リース資産	27,508,800	19,256,160	8,252,640
合 計	18,689,357,785	11,878,137,160	6,811,220,625

(5) 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益	参 考			
				額面	利率 (%)	受取利息	期間 (年)
F 304回地方金融機構債 (平成27年10月発行)	200,000,000	181,620,000	△ 18,380,000	200,000,000	0.958	1,916,000	18
合 計	200,000,000	181,620,000	△ 18,380,000	200,000,000		1,916,000	

5 附属明細書

(1) 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区 分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	投資有価証券	200,000,000	0	0	200,000,000
特定資産	運用基金	300,000,000	0	0	300,000,000
	退職給付引当資産	108,678,088	14,784,045	0	123,462,133
	減価償却引当資産	546,709,236	196,825,000	148,294,465	595,239,771
	経営調整積立資産	350,000,000	0	0	350,000,000
	修繕等積立資産	3,135,520,536	592,000,000	267,990,950	3,459,529,586
	特定資産計	4,440,907,860	803,609,045	416,285,415	4,828,231,490

・修繕等積立資産及び減価償却引当資産の当期増加額は、次年度以降の修繕等に対応するため預金に積み立てたものであり、当期減少額は当年度の修繕等の財源として預金を取崩したものである。

(2) 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	108,678,088	14,784,045	0	0	123,462,133

6 財産目録（令和8年3月31日現在）

（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等		使用目的等		金 額				
(流動資産)	小口現金	手元保管		少額支払資金として		53, 018				
	現金	手元保管		釣銭用資金及び駐車料金等		4, 075, 840				
	普通預金	福岡銀行本店		運転資金として		1, 456, 297, 621				
		福岡銀行博多支店				59, 845, 746				
		西日本シティ銀行本店				24, 183, 015				
		西日本シティ銀行博多支店				23, 557, 083				
		三井住友銀行福岡支店				82, 583, 813				
				小計		1, 646, 467, 278				
	未収金	福岡国際会議場、マリンメッセ福岡A館、マリンメッセ福岡B館、福岡国際センター及び法人		施設利用に係る使用料収入等		126, 160, 728				
	前払金	法人		I Cカード（nimoca）残額		25, 394				
前払費用	福岡国際会議場、福岡国際センター及び法人		火災保険料及び施設賠償保険料		4, 966, 116					
貯蔵品	福岡国際センター		修繕用材料として		968, 000					
流動資産合計						1, 782, 716, 374				
(固定資産)	基本財産	投資有価証券	F 304回地方金融機構債（平成27年10月発行）	財団の基本財産		200, 000, 000				
	特定資産	運用基金	金銭信託 三井住友信託銀行福岡支店		福岡国際センターの管理運営に係る有形固定資産の取得及び修繕費用に当てるため受け入れた資産	300, 000, 000				
			退職給付引当資産	普通預金 福岡銀行博多支店		退職給付引当金の引当に備え積み立てた資産		23, 462, 133		
				定期預金 三井住友信託銀行福岡支店				100, 000, 000		
						小計		123, 462, 133		
		減価償却引当資産	普通預金 福岡銀行博多支店		器具及び備品、ソフトウェアの更新のために積み立てた資産	325, 239, 771				
			定期預金 三井住友信託銀行福岡支店			50, 000, 000				
			金銭信託 三菱UFJ信託銀行福岡支店			20, 000, 000				
			金銭信託 三井住友信託銀行福岡支店			200, 000, 000				
						小計		595, 239, 771		
		経営調整積立資産	定期預金 三井住友信託銀行福岡支店		損害賠償金の支払いなど財団運営上必要と認められる費用に充てるため積み立てた資産		350, 000, 000			
		修繕等積立資産	普通預金 福岡銀行博多支店		財団施設の修繕、改良及び更新のために積み立てた資産		1, 479, 529, 586			
			金銭信託 三菱UFJ信託銀行福岡支店				1, 180, 000, 000			
			金銭信託 三井住友信託銀行福岡支店				800, 000, 000			
					小計		3, 459, 529, 586			

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
その他 固定資産	建物	博多区築港本町２－２ 博多区石城町２－１	福岡国際センター 福岡国際会議場 小計	1,018,413,644 4,168,000,181 5,186,413,825
	建物付属設備	福岡国際会議場、マリンメッセ福岡Ａ館、福岡国際センター及び法人	電気設備、空調設備、給排水設備、エレベーター設備等	1,183,620,712
	構築物	福岡国際会議場、マリンメッセ福岡Ａ館及び福岡国際センター	コンベンションゾーン暫定通路、外構、緑道等	43,240,114
	車両運搬具	福岡国際会議場及びマリンメッセ福岡Ａ館	けん引車輛、フォークリフト、高所作業車、ピアノ運搬車	4
	機械及び装置	福岡国際会議場、マリンメッセ福岡Ａ館及び福岡国際センター	舞台せり上げ装置、吊物装置等	106,266,764
	器具及び備品	福岡国際会議場、マリンメッセ福岡Ａ館、マリンメッセ福岡Ｂ館、福岡国際センター及び法人	大型映像装置、プロジェクター、同時通訳設備等	259,589,790
	リース資産	法人	パーソナルコンピュータ、公益法人会計システム	8,252,640
	建設仮勘定	福岡国際会議場及び福岡国際センター	大規模改修工事	133,485,000
	ソフトウェア	福岡国際会議場、マリンメッセ福岡Ａ館、マリンメッセ福岡Ｂ館、福岡国際センター及び法人	施設予約管理システム等	23,836,776
	長期前払費用	福岡国際会議場及び福岡国際センター	施設火災保険料	6,108,791
固定資産合計				11,979,045,906
資産合計				13,761,762,280
(流動負債)	未払金	福岡国際会議場、マリンメッセ福岡Ａ館、マリンメッセ福岡Ｂ館、福岡国際センター及び法人	施設の管理運営に係る令和７年度分支払等	400,187,889
	前受金	福岡国際会議場、マリンメッセ福岡Ａ館、マリンメッセ福岡Ｂ館及び福岡国際センター	令和８年度以降の施設使用料収入(予約金)等	384,239,399
	預り金	福岡国際センター	外壁改修工事契約保証金	17,600,000
流動負債合計				802,027,288
(固定負債)	リース債務	法人	パーソナルコンピュータ、公益法人会計システム	8,252,640
	退職給付引当金	財団職員に対するもの	財団職員に対する退職金の支払いに備えたもの	123,462,133
	受入保証金	福岡国際会議場及びマリンメッセ福岡Ａ館	施設のレストラン運営委託に係る保証金	2,000,000
固定負債合計				133,714,773
負債合計				935,742,061
正味財産				12,826,020,219

7 収支計算書 (令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	当初予算額	最終予算額	決 算 額	差 異
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	1,916,000	1,916,000	1,916,000	0
② 特定資産運用益	9,922,000	17,822,000	17,854,731	△ 32,731
③ コンベンション事業収益	2,292,874,000	2,417,774,000	2,450,002,270	△ 32,228,270
④ レストラン等事業収益	102,940,000	104,551,000	101,943,793	2,607,207
⑤ 駐車場事業収益	187,550,000	197,950,000	202,016,060	△ 4,066,060
⑥ 雑収益	8,853,000	30,612,000	30,404,726	207,274
経常収益計	2,604,055,000	2,770,625,000	2,804,137,580	△ 33,512,580
(2) 経常費用				0
① コンベンション事業費	2,226,047,000	2,113,187,000	2,052,143,191	61,043,809
② レストラン等事業費	9,067,000	9,067,000	8,065,261	1,001,739
③ 駐車場事業費	54,163,000	54,163,000	52,658,679	1,504,321
④ 管理費	111,991,000	112,131,000	108,170,163	3,960,837
⑤ 寄附金	170,000,000	170,000,000	170,000,000	0
経常費用計	2,571,268,000	2,458,548,000	2,391,037,294	67,510,706
当期経常増減額	32,787,000	312,077,000	413,100,286	△ 101,023,286
2. 経常外増減の部				0
(1) 経常外収益				0
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				0
① 除却損失	2,450,000	1,602,000	1,597,068	4,932
経常外費用計	2,450,000	1,602,000	1,597,068	4,932
当期経常外増減額	△ 2,450,000	△ 1,602,000	△ 1,597,068	△ 4,932
当期一般正味財産増減額	30,337,000	310,475,000	411,503,218	△ 101,028,218
一般正味財産期首残高	11,884,776,000	11,914,517,000	11,914,517,001	△ 1
一般正味財産期末残高	11,915,113,000	12,224,992,000	12,326,020,219	△ 101,028,219
II 指定正味財産増減の部				0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	500,000,000	500,000,000	500,000,000	0
指定正味財産期末残高	500,000,000	500,000,000	500,000,000	0
III 正味財産期末残高	12,415,113,000	12,724,992,000	12,826,020,219	△ 101,028,219

8 契約金額が3億円以上の工事又は製造の請負の契約

(1) 福岡国際会議場外壁他改修工事

ア 契約の目的	福岡国際会議場の外壁及び防水、塗装等で竣工時からの経年劣化が発生しているため改修を行うもの。
イ 契約金額	354,200,000円
ウ 契約の相手方	東京都港区元赤坂1丁目3番1号 鹿島建設株式会社
エ 契約年月日	令和7年6月24日
オ 履行期限	令和8年6月30日まで
カ 工事地	福岡市博多区石城町2番1号
キ 保証期間	受渡完了の日から1年間

9 契約金額が4,000万円以上の不動産等の買入れ等の契約

該当なし

第3章 令和8年度事業計画

1 事業計画

(1) 概要

財団は、昭和54年の設立以降、順次福岡国際センター、マリンメッセ福岡A館、福岡国際会議場及びマリンメッセ福岡B館の管理・運営を担いつつ、福岡市及びFCVBと連携し、国際会議や大規模な学術会議、展示会等のMICEの誘致及び開催支援を行ってきた。

引き続き、財団がこれまで培ってきたMICE誘致や施設運営に関する知見・ノウハウ等を活かし、施設の適正かつ効率的な運営を行うとともに、多様化・高度化するMICE需要に的確に対応することで福岡市の地域経済の活性化及び学術文化の振興へ貢献していく。

また、令和8年3月に改定の「観光・MICE推進プログラム」を踏まえ、大学等との連携により国際会議をはじめとする質の高いMICEの誘致活動を積極的に進めるとともに、ビジネス機会の創出等を通じて、持続的な地域経済の活性化に貢献していく。

(2) 主要施策

① 主要目標

令和6年度から10年度までの事業計画においては、第5期指定管理期間中に、施設の利用状況をコロナ禍前の水準に戻すとともに、令和3年4月から供用開始したマリンメッセ福岡B館の利用促進を図ることとしている。

具体的には、指定管理期間の最終年度である令和10年度に福岡国際会議場、マリンメッセ福岡A館、福岡国際センター3館は、過去最もコンベンション事業収入が多かった平成30年度の利用率・利用者数を、マリンメッセ福岡B館は利用率80%・利用者数38万人を目標として設定しており、目標達成に向けて令和8年度も目標利用率、目標利用者数の実現に取り組んでいく。

② MICE誘致に向けた取組み

ア 営業戦略に基づいた取組み

【営業戦略1】マーケティングに基づく新規催事の獲得

九州の産業構造、業界トレンドに関するマーケティング調査結果に基づき、アプローチする業界・分野、主催者のターゲティング及び優先順位付を行い、実効性の高いMICE誘致活動を推進する。

【営業戦略2】マリンメッセ福岡B館の利用促進

マリンメッセ福岡B館単体での新規催事の誘致はもとより、マリンメッセ福岡A館を利用する既存催事の規模拡大に伴うB館利用の促進や、福岡国際会議場との併催による誘致に取り組む。

【営業戦略3】国際会議・学会議の積極的誘致

国際会議や学会議を主導する大会長、地元大学の教授、学会議事務局等への積極的な訪問営業を通じて、関係性の強化やネットワークの拡大を図るとともに、開催される催事の情報収集に努めることにより、今後の質の高いMICEの開催に繋げていく。

【営業戦略4】利用率向上に向けたリピーター調整

リピーターによる継続的な利用及び新たな催事の定着に向け、主催者ニーズに沿った丁寧な日程調整や、効率的かつ最適な施設利用の提案を行うことで、施設利用率の向上に努める。

イ 広報活動

コンベンション施設の効果的なプロモーションを行うため、業界関係誌への広告掲載や業界関係者を対象とした見本市展示会への出展を実施する。

WEBを活用したキーワード検索等による広告展開を実施し、国際会議場中小会議室の利用促進に特化したホームページ制作による見込み客（リード客）の誘引を図る。

ウ コンベンションゾーンの施設相互利用の取組み

学会議や展示会等の大型MICEの誘致活動に加え、既存催事の規模拡大提案による施設相互利用の促進を図る。

エ 都市間競争の激化など新たな課題への対応

福岡市の重点施策と連携を図りながら、都市のブランド力を活かした誘致に取り組んでいく。

また、「九州のゲートウェイ都市」として福岡だけでなく広域的な魅力を発信することで、都市間競争に対応していく。

オ 国際MICEへの対応

FVCVBのMICE誘致・支援部門である Meeting Place Fukuoka と連携し、国内外で開催される展示会への出展や海外主催者の視察受入等を通じて、コンベンションゾーンのPRを行うとともに、都市としての魅力を発信することにより、今後の更なる誘致拡大を目指す。

カ 重点分野の積極的誘致、新たなビジネス機会の創出

地域産業の活性化に資するため、重点分野を中心に新たなビジネス機会やイノベーションの創出につながる催事の積極的誘致に努める。

(3) お客様サービス向上への取組み

催事主催者や来場者に安全・安心に利用できる施設を提供し、催事運営サポートのプロフェッショナルとして質の高いサービス提供を行う。

＜主な取組内容＞

- 主催者及び来場者へのアンケート等によるニーズの把握と的確な対応
- 臨時バスの効率的な運行促進や、催事規模に応じた駐車場の混雑対策
- 周辺道路混雑緩和に向けた配車アプリ利用者専用乗降場所の新設
- ホームページやSNSの活用によるイベント情報、駐車場状況の発信

(4) 国際MICE受入れ体制強化に向けた主な取組内容

① ハラル、ヴィーガンなどのフードダイバーシティへの対応

福岡国際会議場及びマリンメッセ福岡A館のレストランにおいて、対応メニューの提供に加え、レストランメニューの多言語化・ピクト表示を進める。

② 英語による国際会議等への対応

会話研修による英語対応能力向上に加え、施設利用の手引き、利用許可書、請求書及び館内注意書きの英語版を作成し、活用を進める。

(5) 施設の維持管理

- 経年老朽化に適切に対応した維持管理を行い、施設の安全性を確保するとともに、長期保全計画に基づき、設備機器の更新や施設環境の改善を計画的に実施する。
- 利用者が快適で円滑に施設を利用できるよう、各施設の保守管理、改修等を適宜行う。
- 専門委託業者等による日常・定期点検を確実に行うとともに、実施内容の確認を徹底し、予防保全に努める。

(6) 危機管理対策（事故防止・防犯・防災対策）

- 催事が安全に開催されるよう、日頃から施設設備の点検を徹底し、安全対策に努める。
- 火災、地震をはじめ、テロ等の危機事案の発生時には、主催者と十分な連携を図り、迅速、的確かつ組織的な対応により来場者の安全を確保する。
- 危機事案に適切に対応できるよう、消防計画に基づく年2回の定期的な消防訓練を実施する。
- 財団職員及び防災センター等の職員の防災対応力の強化を図るため、救命講習や各種研修の計画的受講を実施する。

(7) SDGsへの取組み

持続可能な社会への実現に向けて、財団独自に策定した「SDGs取組方針」に基づき、催事開催における環境負荷の低減やユニバーサルサービスの充実等に取り組む。

＜令和8年度の主な取組内容＞

- 催事におけるごみ排出の抑制とリサイクルの促進
- 施設内レストランの食品残渣の利活用（コンポストによる食品資源の循環）
- 地球温暖化対策として電気自動車普及を目的としたEV充電器の設置
- 空調の最適化運転によるCO₂排出削減に向けた実証

(8) 自主企画事業等への取組み

コンベンションゾーンの魅力向上や、地域経済や福岡市が実施する施策への貢献、地域との連携を図るため、財団が主催・共催する事業等を実施する。

① 自主企画事業（催事）の実施

4回目となる「FUKUOKA MUSIC SUMMIT」を継続実施するとともに、福岡市や福岡地域戦略推進協議会等と連携し、コンベンションゾーンの活性化を目的としたアート関連イベント等事業の実施と定着化を進める。

② その他新規事業の実施

施設運営の生産性向上・高度化と来場者満足の両立を図るため、福岡市の「mirai@」の枠組みを利用して、AI・IoT等の先端技術を活用したMICE施設運営のスマート化に向けた実証プロジェクトに取り組む。

2 収支予算書（令和8年4月1日から令和9年3月31日まで）

（単位：千円）

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
（1）経常収益			
① 基本財産運用益	1,916	1,916	0
基本財産受取利息	1,916	1,916	0
② 特定資産運用益	20,838	9,922	10,916
特定資産受取利息	20,838	9,922	10,916
③ コンベンション事業収益	2,416,527	2,292,874	123,653
施設使用料収益	2,203,153	2,095,353	107,800
受取負担金	213,374	197,521	15,853
④ レストラン等事業収益	100,896	102,940	△ 2,044
レストラン収益	37,129	39,239	△ 2,110
自動販売機収益	43,621	43,483	138
付帯設備設置料収益	20,146	20,218	△ 72
⑤ 駐車場事業収益	189,778	187,550	2,228
駐車場事業収益	189,778	187,550	2,228
⑥ 雑収益	55,243	8,853	46,390
受取利息	3,551	873	2,678
還付消費税収益	44,731	0	44,731
雑収益	6,961	7,980	△ 1,019
経常収益計	2,785,198	2,604,055	181,143
（2）経常費用			
① コンベンション事業費	2,229,614	2,226,047	3,567
役員報酬	10,456	7,172	3,284
給料手当	223,980	204,512	19,468
退職給付費用	14,788	9,400	5,388
福利厚生費	37,988	34,444	3,544
会議費	153	153	0
旅費交通費	5,338	4,989	349
通信運搬費	5,757	5,588	169
減価償却費	460,500	466,533	△ 6,033
消耗什器備品費	6,689	4,227	2,462
消耗品費	9,998	11,861	△ 1,863

(単位：千円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減
修繕費	110,512	132,074	△ 21,562
広告宣伝費	6,091	5,867	224
印刷製本費	1,907	2,657	△ 750
燃料費	1,011	983	28
光熱水料費	299,777	365,860	△ 66,083
賃借料	4,808	2,768	2,040
保険料	4,073	4,300	△ 227
租税公課	116,429	152,945	△ 36,516
支払負担金	1,383	1,393	△ 10
委託費	907,931	808,276	99,655
雑費	45	45	0
② レストラン等事業費	16,836	9,067	7,769
消耗什器備品費	6,584	0	6,584
修繕費	950	950	0
光熱水料費	6,500	6,550	△ 50
委託費	2,802	1,567	1,235
③ 駐車場事業費	59,423	54,163	5,260
通信運搬費	79	87	△ 8
消耗品費	634	500	134
修繕費	732	732	0
印刷製本費	281	261	20
光熱水料費	4,221	3,764	457
賃借料	195	275	△ 80
委託費	53,213	48,476	4,737
雑費	68	68	0
④ 管理費	124,388	111,991	12,397
役員報酬	15,814	15,035	779
給料手当	42,509	37,307	5,202
退職給付費用	992	969	23
福利厚生費	10,153	9,415	738
被服費	902	170	732
交際費	1,462	1,694	△ 232
会議費	200	200	0
旅費交通費	2,767	2,799	△ 32
通信運搬費	2,149	2,147	2
減価償却費	9,201	8,604	597

(単位：千円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減
消耗品費	5,535	5,744	△ 209
修繕費	100	100	0
広告宣伝費	77	77	0
印刷製本費	691	783	△ 92
燃料費	30	30	0
賃借料	2,847	1,382	1,465
保険料	1,162	1,162	0
諸謝金	2,355	2,819	△ 464
租税公課	1,931	1,597	334
支払負担金	15,333	15,276	57
委託費	7,622	4,166	3,456
雑費	556	515	41
⑤ 寄附金	170,000	170,000	0
福岡市寄附金	170,000	170,000	0
経常費用計	2,600,261	2,571,268	28,993
当期経常増減額	184,937	32,787	152,150
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
① 除却損失	9,612	2,450	7,162
建物附属設備除却損	7,611	112	7,499
構築物除却損	0	338	△ 338
機械及び装置除却損	1	0	1
器具及び備品除却損	2,000	2,000	0
経常外費用計	9,612	2,450	7,162
当期経常外増減額	△ 9,612	△ 2,450	△ 7,162
当期一般正味財産増減額	175,325	30,337	144,988
一般正味財産期首残高	12,224,992	11,884,776	340,216
一般正味財産期末残高	12,400,317	11,915,113	485,204
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	500,000	500,000	0
指定正味財産期末残高	500,000	500,000	0
III 正味財産期末残高	12,900,317	12,415,113	485,204

【参考】収支予算書内訳表（令和８年４月１日から令和９年３月31日まで）

科目	予算合計	事業		
		福岡国際会議場	福岡国際センター	マリンメッセ福岡A館
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	1,916	0	0	0
② 特定資産運用益	20,838	10,618	7,333	249
③ コンベンション事業収益	2,416,527	479,911	318,236	1,127,109
④ レストラン等事業収益	100,896	42,611	12,090	37,501
⑤ 駐車場事業収益	189,778	7,007	1,680	165,016
⑥ 雑収益	55,243	80,014	73,671	4,332
経常収益計	2,785,198	620,161	413,010	1,334,207
(2) 経常費用				
① コンベンション事業費	2,229,614	982,048	463,058	660,304
② レストラン等事業費	16,836	6,677	0	10,159
③ 駐車場事業費	59,423	0	0	59,423
④ 管理費	124,388	0	0	0
⑤ 寄附金	170,000	0	0	0
経常費用計	2,600,261	988,725	463,058	729,886
当期経常増減額	184,937	△ 368,564	△ 50,048	604,321
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
① 除却損失	9,612	4,602	4,010	500
建物附属設備除却損	7,611	4,102	3,509	0
機械及び装置除却損	1	0	1	0
器具及び備品除却損	2,000	500	500	500
経常外費用計	9,612	4,602	4,010	500
当期経常外増減額	△ 9,612	△ 4,602	△ 4,010	△ 500
他会計振替額	0	5,403,149	1,740,667	△ 593,587
当期一般正味財産増減額	175,325	5,029,983	1,686,609	10,234
一般正味財産期首残高	12,224,992	2,895,851	1,593,983	646,417
一般正味財産期末残高	12,400,317	7,925,834	3,280,592	656,651
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	500,000	0	300,000	0
指定正味財産期末残高	500,000	0	300,000	0
III 正味財産期末残高	12,900,317	7,925,834	3,580,592	656,651

(単位：千円)

会	計	法人会計	内部取引消去
マリンメッセ福岡B館	小計		
0	0	1,916	0
167	18,367	2,471	0
491,271	2,416,527	0	0
8,694	100,896	0	0
16,075	189,778	0	0
749	158,766	6,040	△ 109,563
516,956	2,884,334	10,427	△ 109,563
233,767	2,339,177	0	△ 109,563
0	16,836	0	0
0	59,423	0	0
0	0	124,388	0
0	0	170,000	0
233,767	2,415,436	294,388	△ 109,563
283,189	468,898	△ 283,961	0
0	0	0	0
0	9,112	500	0
0	7,611	0	
0	1	0	
0	1,500	500	
0	9,112	500	0
0	△ 9,112	△ 500	0
△ 277,148	6,273,081	△ 6,273,081	0
6,041	6,732,867	△ 6,557,542	0
158,254	5,294,505	6,930,487	0
164,295	12,027,372	372,945	0
0	0	0	0
0	300,000	200,000	0
0	300,000	200,000	0
164,295	12,327,372	572,945	0